

# 日本IDDMネットワークセミナー 2013 in 愛知

## 1 東日本大震災の体験から 型糖尿病患者が学ぶこと

東日本大震災／岩手県山田町  
(撮影:佐藤辰也)

参加者全員に  
1型糖尿病[IDDM]  
お役立ちマニュアルPart3  
～災害対応編～ 別冊  
1型糖尿病患者の東日本大震災  
を配布いたします。

2011年3月11日、日本観測史上最大の地震「東日本大震災」が発生しました。こうした大地震が起きた時にどのような事態に陥るか、皆さんはイメージできていますか? 災害に備えて準備はしていますか?

1型糖尿病[IDDM]患者にとって「インスリンが手に入らない」、「注射器が壊れた」、「避難所で1型糖尿病[IDDM]のことが分かってもらえない」など様々な不安があります。

このたび2年間にわたる現地訪問取材や当時の記録をもとに「1型糖尿病[IDDM]お役立ちマニュアルPart3～災害対応編～別冊 1型糖尿病関係者の東日本大震災」を出版いたします。そこであらためて、ご協力いただいた方々をお招きして、実体験もお聞かせいただきながら、この大震災を風化させることなく皆さんで災害への対応について考える機会を持ちました。

患者や家族だけでなく、災害支援者の方々のご参加もお待ちしております。

日時 平成25年 **5月26日** 日

午後1時30分▶午後4時 開場 午後1時

会場 **愛知県社会福祉会館 3階** ボランティア学習室

名古屋市中区丸の内二丁目4番7号

<http://www.aichi-fukushi.or.jp/kaikan.html>

進行 **山本 康史**(日本IDDMネットワーク理事/みえ防災市民会議議長)

対象 **インスリンユーザー、その家族、医療関係者、行政(防災、医薬、保健部局)、製薬会社、防災ボランティア、自主防災リーダーなど、どなたでもご参加ください。**

定員 **100名(先着順)** 参加費 (会員) **2,000円** (非会員) **3,000円**

※当日お支払いください

申込み 日本IDDMネットワークサイトより  
オンラインにてお申込みください。  
[http://japan-iddm.net/250526\\_input/](http://japan-iddm.net/250526_input/)

もしくは下参加申込書に氏名、所属(団体の方のみ)、  
連絡先(住所、TEL、FAX、E-mailのいずれか)をご記入の上、  
E-mail、FAXまたは郵送にて下記宛にお申し込みください。

「治らない」から「治る」へ  
認定特定非営利活動法人 **日本IDDMネットワーク**

〒840-0801  
佐賀県佐賀市駅前中央1-8-32  
iスクエアビル3F 市民活動プラザ内  
レターケースNo.42

TEL **0952-20-2062**  
FAX **020-4664-1804**  
E-MAIL **info@japan-iddm.net**

### 「東日本大震災の体験から1型糖尿病患者が学ぶこと」参加申込書 2013年5月26日 in 名古屋

ふりがな 氏名		住所	〒	県 都 府
該当する□に ✓を付けて ください	日本IDDMネットワーク	TEL	自宅・携帯・職場	
	<input type="checkbox"/> 会員 ( <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 賛助 <input type="checkbox"/> 患者会 [所属会名])	FAX	自宅・職場	
	<input type="checkbox"/> 非会員 ( <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 企業・団体 [所属団体名])	E-mail	本人・職場	
区分	<input type="checkbox"/> 患者 <input type="checkbox"/> 患者の家族 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 医療従事者(医師・看護師・栄養士・その他[ )	※長文のご案内メールをお送りする場合がありますので携帯メールの場合にはご了承ください。		
		<b>当日ボランティアスタッフ募集</b>		ご協力いただける方は○を付けてください <b>参加</b>

※お預かりした個人情報は、当法人からのご連絡にのみ使用し、ご本人の承諾なしに第三者へ提供することはありません。

※お願い: 連絡をさせていただく際に、E-mail又はFAXを使用しますので **鮮明** にお書きください。

※ボランティアスタッフとしてご参加、ご協力をいただける方には、後日事務局より活動内容をお知らせいたします。



## 東日本大震災の体験から1型糖尿病患者が学ぶこと

### プログラム

東日本大震災の特徴

東日本大震災の体験紹介

石巻市で津波の被害を受け、避難所生活の中でインスリン入手に苦勞した1型糖尿病患者宮城県の拠点病院である東北大学病院で患者の対応にあたった糖尿病看護認定看護師株式会社バイタルネット(インスリンなどの供給に奔走した仙台市の医薬品卸売事業者)ほか

参加者の皆さんと発表者との意見交換

災害に備えて - 8つのポイント -

### 会場地図

愛知県社会福祉会館 名古屋市中区丸の内二丁目4番7号



### 地下鉄

桜通線「丸の内駅」下車(4番出口)徒歩8分  
名城線「市役所駅」下車(4番出口)徒歩8分  
鶴舞線「丸の内駅」下車(1番出口)徒歩8分  
名城線、桜通線「久屋大通駅」下車(1番出口)徒歩13分

### 市バス

名古屋バスターミナルから  
幹名駅1号・名駅14号「外堀通」下車徒歩3分  
栄バスターミナル(オアシス21のりば)から  
栄13号「外堀通」下車徒歩1分

## 1型糖尿病IDDMお役立ちマニュアル PART 3

### 災害対応編 別冊

## 1型糖尿病[IDDM]関係者の東日本大震災

特集 ドキュメント3.11そしてインスリンは届いた

- 1章 東日本大震災の特徴とインスリンが届くまで
- 2章 震災とカーボカウント
- 3章 体験談(患者・家族、医療従事者)
- 4章 製薬企業・製薬卸売事業者・国の対応
- 5章 日本IDDMネットワークの取り組み
- 6章 まとめ(課題と提言)

参考資料 インスリン製剤の一覧、市町村役場の状況ほか



東日本大震災/岩手県山田町(撮影:佐藤辰也)

### 認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワークとは

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災では、被災地の1型糖尿病患者はインスリンの入手等に大変な苦勞を強いられました。この震災が契機となり、全国の患者・家族の連携を図るために、同年9月に発足しました。

現在、NPO法人として、政策提言(20歳以上の患者への支援策等)、調査研究(大規模災害時における患者の行動・支援指針の作成等)、シンポジウム開催、1型糖尿病根治に向けた研究費助成等に取り組んでいます。



認定特定非営利  
活動法人

「治らない」から「治る」へ

日本IDDMネットワーク



<http://japan-iddm.net/>